

(法第 29 条関係様式例)

2022 年度事業報告書

特定非営利活動法人ミンナのチカラ

1 事業の成果

居場所づくりについては、月 2 回ひきこもりの居場所をミンナの Casa で開設したほか、胎内市から多世代交流拠点の運営を受託しました。

居場所は今年度 23 回開設し延べ 44 名が利用しました。1 回あたり平均 2 人弱と利用は少ないですが、社会復帰につながった方もいらっしゃいました。

なお、2023 年 1 月には新たな民生・児童委員に就任した方への説明会の中で、時間を頂戴し取組の説明とチラシを配布し、つながりの構築にもつながられました。

今後も SNS や口コミなどを通じて多くの人に居場所の存在を周知していくという情報発信が必要です。

施設の運営については、居場所の外壁に看板を常設したほか、にいがた・新テーマ型募金でいただいた寄付をもとに、暖房便座への取替や LED 照明への切り替えを実施しました。

受託した多世代交流事業では、ほぼ毎月何らかのワークショップを行い、8 月の苔テラリウムワークショップはウエルネス中条様の会議室をお借りし開催するなど他事業者との連携も行いました。

そして、学用品バンクのミンナのユズリバは、今年度 14 組が利用しました。譲り受ける方の取組は、順調に集まってきており、トータルで 200 着は越えたところですが、大きいサイズがない、特定の学校のものが多いなどの状況も生じています。集めることが目的の事業ではないので、必要としている方に譲り渡せるよう周知を図っていきます。

(1) ミンナの Casa 23 回開催 延べ 44 人の利用

(2) ミンナのユズリバ 14 組の利用

在庫：トータル 200 着以上

ランドセル、高校の制服、中学校の内履きもあり

(3) 多世代交流 17 回開催 延べ 140 人の参加（スタッフ含む。）

多世代交流わらびとり 1 回、多世代交流マコモタケ栽培体験 5 回を含む。

空き家・空き地対策では、空き地の草刈りを 2 件対応しました。また、胎内市の空き家バンク担当課と連携し、当法人の空き家・空地対策のチラシを市役所に配置してもらいました。

また、中条中学校 3 年生の総合学習の伴走者となり市内の空き家の状況を伝え、その活用方法を探り、実行に移すという取組を半年間かけて行い、11 月 3 日には本町通り商店街で空き店舗を活用した中学生が運営する 1 日限りのカフェを開店しました。コロナ禍で、本来中学 2 年生で行われる職場体験ができなかった 3 年生に良い経験を提供できたのではないかと感じています。

交流イベントとして、多世代交流事業とも連動して行ったマコモダケ栽培体験のオー

ナーとなり、植え付けから収穫まで鼓岡地内のほ場で体験しました。

また、多世代交流事業で実施した竹灯籠ワークショップからの広がり、中条小学校秋祭りで5年生 60 人向けに竹灯籠作製のワークショップを開催したほか、(株) 小野組様のイベントに出店し竹灯籠ワークショップを実施しました。

その他の事業としては、新潟県労働金庫佐渡支店様からセミナー講演の依頼を受け、10 月に佐渡で NPO 法人立ち上げから現在に至るまでを紹介させていただきました。

そして、3 月 12 日には、関川村で開催されたひきこもりフォーラムのパネリストとして高橋副代表理事が登壇しました。

また、中条中学校 2 年生の職場体験場所としてミンナの Casa を提供し、学用服の仕分けなどを手伝っていただきました。ここではボランティアスタッフにも 2 日間午前午後に分かれて 1 ～ 2 名で活動をサポートしていただき、今までの仕事観、ボランティア観を生徒に話してもらいました。職場体験お礼の手紙を見ると、ボランティアスタッフのお話が生徒たちに響いていたことを感じ取ることができました。

このほか、新潟県労働金庫中条支店様が手掛けるスマイルプロジェクトの一環で作成した地域の NPO 法人等紹介冊子にも掲載していただきました。

また、内閣府の調査「仕事と生活の調和推進のための調査研究～仕事と子育て等の両立を阻害する慣行等調査～（令和 4 年 3 月）」に学用服バンク「ミンナのユズリバ」が取り上げられました。

2 事業実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(単位：千円)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
居場所づくりに関する事業	ひきこもりの当事者とその家族の居場所「ミンナのカサ」を運営 このほか、多世代交流拠点運営、学用服バンクの運営を居場所づくりの一環として実施	毎月第1・3日曜日の午後2時から4時まで 多世代交流は毎月第3日曜日の正午から午後2時まで	胎内市新栄町1-20	6人	胎内市民及び市外の対象者	726
空き家対策に関する事業	空き家等の管理等を行うほか、空き家等の利活用に向けたマッチングサイト作成	通年	胎内市全域	1人	胎内市民及び市内に空き家等を所有する者	85
交流・イベント開催に関する事業	野外活動（マコモダケ栽培体験）を実施	5月から9月まで	胎内市全域	5人	胎内市民及び市外の対象者	3
前条に掲げる活動に資する事業	新型コロナウイルス禍のマスク生活を快適にするための物販等	通年	胎内市全域	2人	新潟県民	75